

進めよう集落営農！ 第1回黒潮町集落営農研究会を開催

黒潮町では、農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題が深刻化する中、将来にわたって農地を守っていくための手段の一つとして、集落でまとまって共同で農業に取り組む「集落営農」を推進しています。しかし、町内にはまだ十分な数の集落営農組織が設立されているとはいえません。

町内における集落営農組織の設立をさらに推進するため、7月11日、集落営農に取り組む意向のある地区や中山間地域等直接支払協定の集落、農地・水保全管理活動組織の代表者22人を対象に、第1回黒潮町集落営農研究会を開催しました。

町から、研究会の目的や活動内容、地域農業の現状について、幡多農業振興センターから、集落営農の取り組みについて説明し、その後、意見交換を行いました。

参加した代表者からは、「このような取り組み(集落営農)があることを初めて知った」「集落での取り組みは大変だと思うが、これからは考えていかななくてはいいけ

い」など、いろいろな意見が出ました。

また、組織設立に向けての集落座談会の開催についてアンケート調査を行ったところ、開催に前向きな意見も出るなど、集落営農への関心が高まっていることがうかがえました。

今後は、集落営農の先進地視察や既存組織の代表者による講演などを予定。各関係機関と連携しながら、集落営農組織設立に向けてさまざまな支援を行っていきます。

(農業振興係)



第11回上林暁忌短歌大会 全国から112首集まる

第11回上林暁忌短歌大会が、7月27日、午後1時より町保健福祉センターで、県外の方々を含む80人の参加者で盛大に行われました。

大会では、「塔」の選者で歌人の栗木京子先生が、「歌をよむ悦び」と題して講演。その後、県内外から寄せられた112首の中から、特選3首、植田馨賞1首、秀作5首、佳作10首が選ばれ、表彰式が行われました。秀作以上は、次の方々です。

◆入賞作品 選者 栗木京子先生

【特選】

濯ぎものよく乾きおり一人身となりたる我の単純な色 四万十市 北村 卓弘

波おとのとどく砂地に辣蕪が花つけており津波よ来るな 高知市 今井 嘉彦

古は猿野と言いいしこの村に猿また出でてト

マト漁れり 土佐清水市 池 英夫

【植田馨賞】

樹語あれば語れよ杉の落し蓋 百三の年輪

数へておどろく 南国市 吉川 定子

【秀作】

玉ネギの収穫終えて猿網の草屑のける雨の農舎で 四万十市 篠田 文夫

大地より湧き出でしごと咲く薔薇の赤色黄色キャンパスにおく 東京都 池 陽子

仰向きの山紫陽花の花が好き木立に低きうすむらさきの花 四万十市 山下久美子

楽しかりし思い出のみを巡らせて介護に向かう母待つ家に 香川県 角 広子

捨白の水背伸びして親猫の飲めば仔猫も背伸びして飲む 黒潮町 三木美和子

黒潮町 三木美和子

